

**製品名: CALD1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82346**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	93.2kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CALD1
別名	CDM; HCAD; LCAD; H-CAD; L-CAD; NAG22
遺伝子 ID	800.0
SwissProt ID	Q05682
免疫原	大腸菌で発現したヒト CALD1 (AA: 26-207) の精製された組み換え断片。

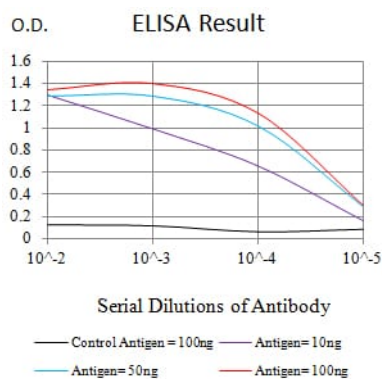
**背景**

この遺伝子は、平滑筋および非筋収縮の制御に重要な役割を果たすカルモジュリンおよびアクチン結合タンパク質をコードしています。このタンパク質の保存されたドメインは、Ca(2+)-カルモジュリン、アクチン、トロポミオシン、ミオシン、およびリン脂質への

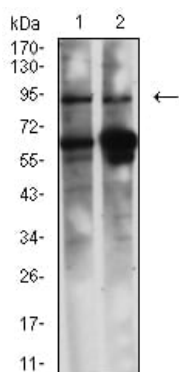
結合活性を有しています。このタンパク質は、アクチン-トロポミオシン活性化ミオシン MgATPase の強力な阻害剤であり、Ca(2+) 依存性の平滑筋収縮阻害を媒介する因子として機能します。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

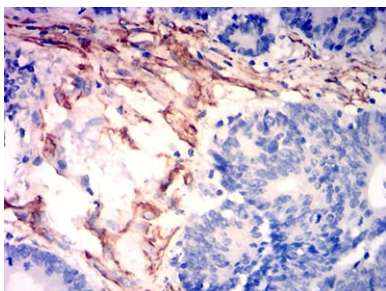
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



NIH/3T3 (1) および C6 (2) 細胞溶解物に対する CALD1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



CALD1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。